

観光社会資本の事例

テーマ	万博の理念と成果を継承した21世紀にふさわしい都市公園		
【施設の状況写真】			
			
<p>「こどもの広場(風の遊具)」 風のかや大気の循環などについて楽しく学び、遊べるエリアです。</p>	<p>「親林楽園(フィールドセンター)」 インタプリターによる自然観察などの環境学習の拠点施設です。</p>	<p>「日本庭園」 現況の地形を生かした本公園のシンボルとなるような回遊式庭園です。また、伝統的な作法や芸術を体験できる場として茶室が整備されています。</p>	<p>「連絡園路(デッキ部)」 もりのこずえが目の前に見えるユニバーサル園路です。</p>
【施設の利用写真】			
			
<p>「こどもの広場」 遊具で楽しむ来場者</p>	<p>「日本庭園」 外国人観光客も来訪</p>		
【観光資源としての利用状況】			
<p>博覧会開催に先立ち、博覧会会場計画と合致する以下の公園施設の整備を行い、現在博覧会会場の一部として多くの来場者に楽しんでいただいています。</p>			
<p>これらの施設は、博覧会後も引き続き公園施設として利用していただけます。</p>			
<ul style="list-style-type: none">・自然とのふれあいを学ぶ「林床花園」や「親林楽園」・日本の伝統文化を紹介する「日本庭園」・子どもたちが緑や水にふれあいながら楽しむことができる「こどもの広場」			

テーマ	万博の理念と成果を継承した21世紀にふさわしい都市公園
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 愛知青少年公園</p> <p>○所在地 愛知県愛知郡長久手町</p> <p>○事業名 都市公園事業</p> <p>○事業主体 愛知県</p> <p>○事業期間 平成14年度から</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>○ 緑豊かで美しい都市生活空間等の形成</p> <p>全体面積は約190haで、三河山地から西に伸びる丘陵地の先端部に位置し、緑豊かな空間となっています。</p> <p>また名古屋市から広がる市街地に近接しているため、都市域に住む住民の貴重な公的空間のひとつとして重要な役割を果たしています。</p> <p>○ 21世紀にふさわしい都市公園</p> <p>2005年日本国際博覧会長久手会場として利用されていることから、これを契機として、「新しいニーズに対応する」、「青少年公園の歴史を活かす」、「博覧会の理念と成果を継承する」、「多様な自然環境を育む」の4つの基本方針にもとづき、21世紀にふさわしい公園として整備することとしております。</p>	
<p>【位置図】</p> <p>■愛知青少年公園の位置</p>	
<p>【関連ホームページ】 愛知県HP: http://www.pref.aichi.jp</p>	